**報告書**

|  |  |
| --- | --- |
| クラス番号 | R4SA01 |
| 氏名 | 青木宇宙 |
| 提出日 | 2021/05/14 |
| 期間 | 2021/05/10 ~ 2021/05/14 |

**確認事項**：

１．個人の作業内容（今週・来週・現在の工程）

２．現状の問題点

３．問題点に対する対策

４．メンバーの作業内容

５．メンバーの進捗

６．全体のスケジュール（メンバーの現在の工程・年間）

７．全体の進捗

８．来週の予定（メンバー・チーム）

９．現状の問題点（メンバー・チーム）

１０．問題点に対する対策（メンバー・チーム）

１．個人の作業内容

今週

開発していくwebアプリをDjango（VScode）で作成することを決め、使い方、環境作成を行った。

来週

それぞれが学んだ内容のシェアを行い、進捗度を合わせ、アプリ開発の手順を模索し、作業を振る。

現在の工程

Djangoについての勉強中

２．現状の問題点

Djangoの前に、フレームワークを使ったことがなかったため、学習の理解度がスムーズに進まないこと。

３．問題点に対する対策

Djangoがわからないといって止まることは嫌なので、とりあえずVScodeに導入し、推奨されているチュートリアル（簡単なアプリ作成）で学習する。

４．メンバーの作業内容

今週はメンバー全員と話し合った結果、各自でDjangoについて学び、来週シェアを行うという予定を立てたので、各自でDjangoについて学んでもらっています。

５．メンバーの進捗

今週はDjangoについての理解と開発ができる状態での進捗度です。

清さん（65%）

フレームワークについて勉強していただき、実際にVScodeでの環境づくりを行っている途中

長井さん（65%）

清さんとペアを組んで作業を進めてもらっているため、清さんと同じになります。

渡部くん（50%）

フレームワークとDjangoについて学んでもらったが、自宅での環境づくりに少し遅れがあります。

澤野くん（50%）

こちらはフレームワークやDjangoについての理解は少し足りないが、VScodeで環境を作りながら学習してもらっている。

６．全体のスケジュール（メンバーの現在の工程・年間）

メンバーの現在の工程

現在メンバー全員が、フレームワークとDjangoについての学習と開発環境づくりに入ってもらっている。

年間

研究テーマで「ある見やすさ（ユーザビリティの向上）」を開発と同時に調査や相談を交え、開発期間全体を通して行っていこうと思っております。

開発５～８月

テストや修正９~10月

余った期間で研究内容を濃くすることや、発表する資料作成などに当てたいと考えております。

７．全体の進捗

完成（発表できる状態）が100％とすると、まだ３％ほどだと感じます。

Djangoについて（開発ができる状態）の学習に進捗度をあてると50%は学べていると感じます。

８．来週の予定（メンバー・チーム）

メンバー

全員で学んだ内容について話し合い、もし開発がスタートできる状態である、と判断することができたら、それぞれにあらかじめ作成しておいた画面作成のレイアウトに沿って画面作成を行ってもらう。

チーム

分からないことや理解度が浅かったところをフォローしあい、さらに学習してもらい（環境づくりも同様）、でき次第画面作成に移ってもらいたいと考えております。

９．現状の問題点（メンバー・チーム）

メンバーで今問題なのは渡部君の自宅環境がwindows7で学校配布のPCで開発環境を整えてもらっているが、バージョンが足りなくなる可能性が少しだけあること。

それ以外は大丈夫です。

チームとしての問題点は、初めてしゃべった人がほとんどのため、まだぎこちない部分があったりすること。

１０．問題点に対する対策（メンバー・チーム）

渡部君には僕自身もフォローしつつ、バージョンが合わなくなる可能性が生まれる時には、すぐに報告してもらうようにする。

チームとしてのぎこちない部分は、とにかく話して慣れるしかないので、僕から個人指名で会話することや、わからないことを共有したり、教えてもらうことで、会話を増やしています。